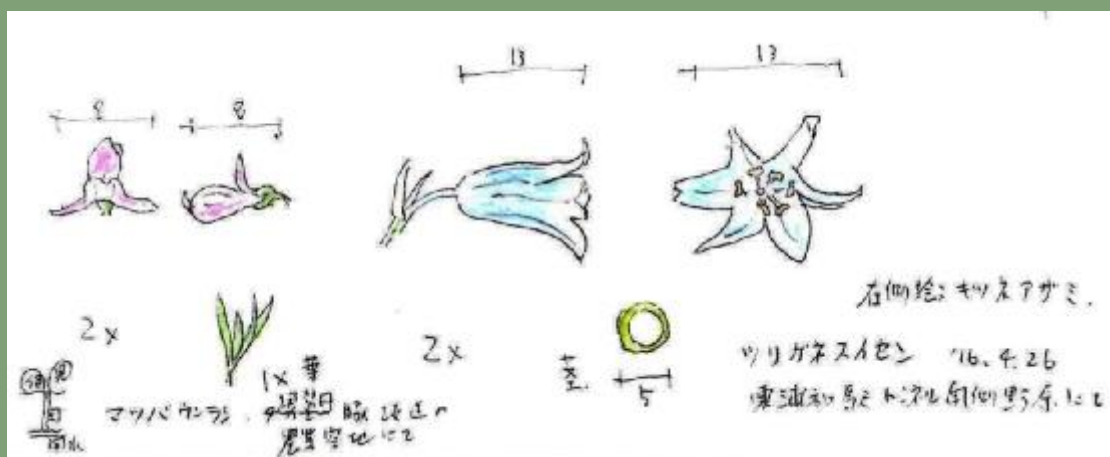


見沼田んぼ・野草スケッチ「ツリガネスイセン」(中央)

マツバウンラン(右)キツネアザミ(左)

科名： ユリ科 ツルボ属

花言葉： 不変、恋の呼びかけ、冷静、哀れ



16. 4. 26 JR 武蔵野線東浦和駅東側トンネル近くの原っぱで

P. S. JR 武蔵野線東浦和駅東側の原っぱにハルジオンの白い花が緑の原っぱに点々と咲いていました。写真を撮りに中に入ってゆくと目の前に青い花が初夏の陽に輝いているのを見つけました。青系の紫色が美しい花！はじめて見る花です。何枚か写真を撮り中の一本だけを採集し家に戻りスケッチをしました。



マツバウンラン

「ツリガネスイセン」 (シラー・ヒスパニカ)

原産地：ヨーロッパのイベリア半島

生育地：

茎：多年草 20～50センチ

葉：根際から生える葉は線形

花期：4月～5月

花：3cm程の筒状釣鐘形で総状花序を出し、ベル形の花を下げる。

花色：基本は淡い青色、白、ピンク、青、紫、他。

果実：

種子：

名前の由来：花が釣鐘状で、葉が水仙に似ていることから。

記述は、みんなの花図鑑のサイトなどを参考にさせていただきました。